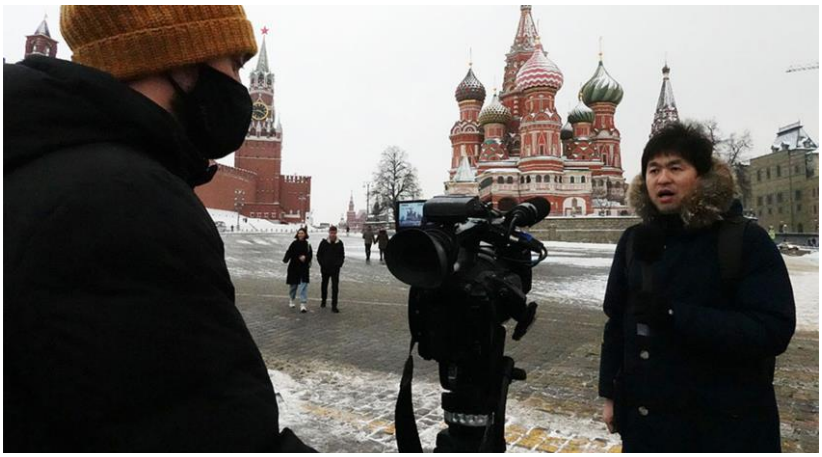
民放クラブの講演会

「戦争すら“他人事”なロシア国民」

～ロシア特派員報告～

2024年4月19日（金）14：00～（受付開始 13:30）



日本では１週間に１回、放送されれば「御の字」だったロシアのニュース。それが、あの日を境に「世界の一丁目一番地」になった。日本の首相の発言すら１日に１回、取り上げられれば多い方であるにもかかわらず、ロシアの大統領のちょっとした発言だけでなく、その一挙手一投足が毎日、注目を浴びた。

一方で、「ロシア国内から食料品がなくなるのではないか」、「ロシア経済は終わるだろう」、「ロシアは政治の崩壊とともに崩れ去るのではないか」との意見が飛び交う中、首都・モスクワのロシア国民は、いたって“普通”だった。マチの観光地は何事もなかったかのようにロシア人であふれ、レストランは賑わっている。ドローン攻撃があったビルを直す兆しすらない。その雰囲気は、クーデター未遂があっても、変わらない。

独裁的な政治に嫌気がさしたのか、母国の未来をあきらめているのか、それとも…。
「戦争をしている国」のロシアで、家族とともに暮らした特派員が報告する。

講　師　UHB 報道情報部　関根（せきね） 弘貴（ひろき）

会　場　かでる2・7　１０４０会議室（北２西７道民活動センタービル）

参加費　500 円

定　員　６０名（電話でお申込み下さい）090-8272-6899（西野）

主　催　北海道民放クラブ社会活動部会

後　援　札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社・ＨＢＣ北海道放送・ＳＴＶ札幌テレビ放送・ＨＴＢ北海道テレビ・ＵＨＢ北海道文化放送・AIR-G'エフエム北海道・ＴＶＨテレビ北海道・ＦＭノースウェーブ・ＳＴＶラジオ